

講義名	簿記原理		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	井上 定子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限 / 前期 木曜日 4時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	2年生	単位数	4
		講義コード	13027

主題と概要

簿記は企業の利益を計算するための技術で、利益計算には二つの意味が含まれています。一つは儲けたかどうかを知るための事後的な計算（この計算結果は株主、銀行、一般投資家など会社外部の利害関係者に開示される）、もう一つは儲けるための事前的な計算（この計算結果は経営者が経営戦略を立てるために用いられる）です。この計算技術の基本的な仕組みが理解できなければ、会社経営はもちろん会社の経営実態を理解することができません（たとえば、株式投資のため企業分析を行うとき）。簿記の計算技術によって作成される財務諸表には、会社の経営実態を把握するための豊富な情報が含まれています。本講義では財務諸表を読むための第一歩となる、複式簿記をマスターすることを目的とします。講義内容は概ね日本商工会議所主催の簿記検定3級レベルに相当します。指定したテキストとプリントによる演習問題により講義を進めていきます。

到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験3級に相当する内容について理解するとともに、複式簿記の仕組みを十分に理解できるようにすることが、目標です。

提出課題

現時点では課す予定はありませんが、講義の進捗度や学生の理解度に応じて課す可能性があります。

評価の基準

以下の点を総合して評価します。
 ・中間試験（講義時間中に4回実施） 40%
 ・定期試験 50%
 ・授業への貢献度（参加意欲や発言など） 10%

履修にあたっての注意・助言他

・第1回目は講義はもちろんのこと、成績評価の方法や講義の進め方についても説明するので必ず出席してください。
 ・積み上げ型の講義のため、欠席が続いたり、復習をあるそかにした場合、突然講義内容が理解できなくなる可能性があります。特にこの科目は4単位科目（週2回の科目）ですので、注意してください。
 ・簿記は、教員の説明をただ聴き、板書するだけでは理解できません。講義時間中に与える演習問題を積極的に解くことで知識を定着させることが大切です。そのため、理解が難しいものについては教員にすぐに質問する、そして自習（予習や復習）するという姿勢が、単位取得には必須です。
 ・なお、「基礎簿記」を履修中あるいは履修済みであることが望ましいです。

教科書

.合格テキスト 商簿記3級 Ver.10.0.	TAC	TAC出版	2,000円＋税
.合格トレーニング 商簿記3級 Ver.10.0.	TAC	TAC出版	1,500円＋税

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリントを配布します。なお、配布は当日にしか行いませんので、欠席（欠席も含め）の場合は特に注意してください。

授業計画

第1回	ガイダンス・簿記の基礎
第2回	日常の手続き：簿記上の取引・仕訳・転記
第3回	商品売買取引（1）：三分法による処理と掛による売買
第4回	商品売買取引（2）：返品・値引きと諸掛り
第5回	現金と現金過不足
第6回	当座預金と当座借越
第7回	第1回から第6回のみと確認演習問題（中間試験）
第8回	手形（1）：約束手形
第9回	手形（2）：手形の裏書・割引
第10回	その他の期中取引（1）：手形貸付金・手形借入金、未収入金・未払金、前払金・前受金
第11回	その他の期中取引（2）：仮払金・仮受金、立替金・預り金、商品券・他店商品券
第12回	その他の期中取引（3）：固定資産と有価証券
第13回	その他の期中取引（4）：租税公課、資本の引出し
第14回	第8回から第13回のみと確認演習問題（中間試験）
第15回	試算表の作成（1）：試算表の意義とその作成方法
第16回	試算表の作成（2）：売掛金明細表と買掛金明細表の作成
第17回	決算の手続き
第18回	決算整理（1）：固定資産の減価償却と売却
第19回	決算整理（2）貸倒れ
第20回	第3回から第19回のみと総まとめ
第21回	第3回から第19回のみと確認演習問題（中間試験）
第22回	決算整理（3）：現金過不足と消耗品の整理、売上原価の計算
第23回	決算整理（4）：費用の繰延べと見越し
第24回	決算整理（5）：収益の繰延べと見越し
第25回	精算表の作成
第26回	貸借対照表と損益計算書の作成
第27回	決算手続きのみと総合問題
第28回	伝票式会計（1）：伝票の意義と三伝票制
第29回	伝票式会計（2）：伝票の意義と三伝票制
第30回	第22回から第29回のみと確認演習問題（中間試験）

* 講義の進捗度により、講義内容や中間試験の実施時期が変更する場合があります。

予習・復習

簿記の知識を習得するには、授業中の学習だけでは不十分です。必ず自宅での学習（予習や復習）が必要となります。その一方で簿記は正解が一つしかないため、自分の理解が正しいかどうか確認しやすく、こつこつ努力した成果が成績に如実に反映される、やりがいのある科目でもあります。

備考

教科書（合格テキストと合格トレーニング）はVer.9.0以降のものが望ましいです。なお、新たに購入する場合は、最新版（Ver.10.0）のものを購入して下さい。